



PEACE 派遣留学報告書

記入日 2017年 1月 8日	
氏 名	なかむらはるか 中村遥夏
所属学部・研究科	生物生産 学部 4 年次 (留学開始時点)
学 生 番 号	B140673
留 学 先 大 学	カセサート 大学 (国名:タイ王国)
所属学部・学科等名	農学部
在 籍 身 分	学生
留 学 期 間	2017年8月5日～2017年12月21日

1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	同じ研究室の先輩がAIMSプログラムで留学し、その話を聞いて私もAIMSプログラムに参加したいと思ったため。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	4月の応募後。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	クレジットカードのキャッシング機能をつけておくべきだった。

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ
	ビザ申請先: タイ王国オオサカ総領事館
	提出書類: 申請書、パスポート、写真、手数料
	手続きに要した日数: 約1週間
その他必要な事前手続き	海外保険
出国年月日	2017年8月5日
経路(往路)	広島空港発羽田空港経由スワンブーン空港着
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	到着後はじめの月曜にオリエンテーションが実施され、教授やスタッフの紹介、大学の説明などがあった。
帰国年月日	2017年12月21日

経路（復路）	スワナブーン空港発成田空港経由広島空港着
--------	----------------------

3. 留学費用について

支出額	総額	360,000	円	
	内訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	60,000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	0	円（広島大学負担）
		光熱費	10,000	円
		食費	60,000	円
		交通費（宿舍ー大学間）		円
		交際費	20,000	円
		その他（海外旅行費）	60,000	円
（ライセンス取得費）	50,000	円		
（旅行費）	50,000	円		
（土産費）	50,000	円		

4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	1科目3時間を4科目で火曜日から金曜日までの午前中の主に農業に関する授業を履修。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	授業に参加し、しっかり試験勉強を行えば単位取得は難しくない。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 10㎡	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（1人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり 3600 TB	(現地通貨)	約 12,000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	同居人と掃除の役割分担をするなど折り合いをつけるべき。		
(2) 医療について			
留学先でかかった病気、けが	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

有の場合、具体的な症状等（情報共有しても差し支えなければ）	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	A型肝炎ワクチン 1回 約8,000円、狂犬病ワクチン 1回 約15,000円 広島大学病院で摂取
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：
留学先国の医療事情（日本と比較して）	日本では医師の同意がなければ処方することを許可されていない成分を含む薬がコンビニエンスストアや薬局で入手できる。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	水道水を口に含むのは歯磨きをするときのみ。衛生上よくない屋台もあるので、客が多い屋台を選ぶ。
(3) 食生活についてのアドバイス	
寮の部屋にはキッチンがなく、毎食ご飯を買っていると食費がかさむので、炊飯器を買って自炊するなどをするとうまいかもしれない。	
(4) 服装についてのアドバイス	
暑いので基本的に日本の夏の恰好。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
大学内、寮内で大学のwi-fiを利用することができる。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
現地学生との交流は少なく、私たちと同じようにカセサート大学に留学してきている他大学からの留学生と、授業後やインターンシップでの交流が多かった。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
留学してきているインドネシア人が多く、接する際には宗教についての理解も必要となる。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

洋服は現地で安く手に入るの、持って行く服は少なくてもよい。歯ブラシもタオル、日焼け止めもコンビニやスーパーで購入できる。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

クレジットカードやデビットカードでお金をおろす際に手数料が約660円かかるので、現金を25~30万円ほど持って行くのもよいかと思われる。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2020年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	広島大学大学院に進学。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前に卒業論文の実験を行い、そのデータをもとに留学中に論文を書いていた。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
【結論】タイ一択。	https://runbkk.net/	準備すべきものやタイ観光地の情報が掲載されている。

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

タイへの留学が初めての海外だったので、日本との違いをよく感じる事ができました。現地の人々の生活や海外の大学生などに触れて、日本でただ大学生として生活するよりもさらに多くのものに刺激、感化されました。留学して変わったことなどはあまり実感できませんが、タイで様々なことに挑戦できた経験がこれからの人生において多くの面で役立つだろうことと思います。

後輩へのメッセージ：

海外に興味がある方にとってこの留学は大変面白いものだと思います。ダイビングやタイのバイク免許取得、スリランカ観光など様々なことを経験できました。留学は今しかできないという思いだけでこの留学に参加しましたが、とてもいい経験になりました。

9. 自由記述 (1200字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

・私が履修した授業は4科目で、中間試験と期末試験がありました。1科目3時間の授業で、途中に約15分の休憩があります。私はIntroduction to tropical agriculture、Food sanitation、Paradigm in Agricultural Extension、Principle of Tropical Agronomyを選択しました。授業内容は主に東南アジアの農業で、生物生産学部の授業で習ったような植物の光合成などについての講義もありました。私の留学における大きな不安は英語の授業を理解できるかでしたが、あまりに授業内容を理解できないということはなく、むしろタイでの教育を垣間見ることができて楽しかったです。たまに課題が出たり、プレゼンテーションもあります。試験前はみんな試験勉強を始め、図書館や寮の一階にあるスタディールームで勉強する生徒が多くなりました。試験は簡単なものから難しいものもあり、インドネシア人は特に成績が良く、授業や試験勉強にも熱心でした。



・授業のある火曜日から金曜日は、朝7時半くらいに起き、8時半に部屋を出て大学のバスに乗って農学部近くで降ります。農学部まではバスでも自転車でも10分弱で着きます。9時から授業が始まり、12時くらいに終わります。午後は自由なので、寮の部屋で過ごしたりバンコク中心地などに遊びに行ったりできました。また、土曜日から月曜日は休みなので観光地に泊りがけで旅行したり、日帰りで観光地に行ったりできました。10月と11月には約1週間の休みがあり、その間に私はスリランカに旅行に行って観光を楽しみました。

・寮の部屋は2人部屋で同じPEACE生の3年生と同室であり、日本人同士でしたので特に相手を気に掛ける必要もなく自由に生活できました。部屋は、洗面台やトイレ、シャワーがある部屋とベッドや机がある部屋に分かれており、クローゼットや冷蔵庫もありました。ルームメイトと就寝時間や起床時間が異なるなどの多少なりともものびのびと生活ができない面も出てきますが、それも留学生活における勉強のひとつだと思いました。



・タイでの食事は、学食や寮の前にある屋台やコンビニエンスストアで済ませることが多かったです。タイ人は料理をご飯にのせて食べるのを好むのか、学食や屋台にはそのような形式のものが多くありました。多くの料理の中からご飯にのせるものを選ぶことができるので、辛そうでないものを選んでよく食べていました。私が生活していた寮他にも近くに5棟ほどの寮があり、大学生が多く住んでいるので、彼らをターゲットにした寮の前を通る道には屋台がいくつか並んでおり、セブンイレブンもありました。屋台でご飯を買う際には、料理の名前をタイ語で覚えるか、料理の写真を指差すか、通りがかった英語がわかるタイ人学生に頼んで料理名を言ってもらうことで注文していました。コンビニエンスストアでは、タイ料理のお弁当やおにぎり、日本食弁当もありました。日本と比べ大変安く購入できるのでよく利用しました。

・タイのいたるところで見かけることができるマーケットでは、フルーツやスムージー、料理、お菓子、洋服、おもちゃなど様々なものが販売されていました。大きい規模のマーケットではいろいろな料理や商品売っているので、見て回るだけでとても楽しめます。また、ナイトマーケットではお酒も販売され、お酒が飲めるバーも多くありました。

